

組合に相談しよう

不払い相談、融資・税金相談、教育資金、サラ金、生活保護、社保未加入問題... 練馬支部 03-3825-5522



購読料は組合費に含まれています。

定価三十円

発行所 東京土建一般労働組合 城北ブロック会議 東京都豊島区池袋5-22-15 板橋 (3963) 5325 練馬 (3825) 5522 豊島北 (3986) 2471 北 (3902) 7121 発行人 佐藤 広平 発行日 1日、9日、17日、25日

選挙へ行こう 必ず投票しよう

戦争する国にさせるのか。消費税増税でさらに苦しむのか。またはそれらを阻止するか。私たちの投票にかかっています

無関心でも無関係ではいられない

7月21日(日)は、参議院議員選挙の投票日です。今回の選挙は、これまでに国民を無視し続けてきた6年半の安倍暴走政権に対する審判、この国に生きる私たちの「これから」を左右します。選挙に対して、自分には関係ないや「誰が当選しても同じ」といった理由から投票しないことは、自身の未来をないがしろにすることに繋がります。

今回の主な争点

今回の主な争点として、①憲法改正の是非、②消費税増税の是非、③年金二千万円不足問題を是正するための社会保障制度の是非をめぐる、与野党の主張が激突しています。安倍政権は参院選で、改憲を争点にすることを盛んに強調しています。参院選の結果、改憲勢力が3分の2以上の議席を維持すれば、来年の新憲法施行に向けてギアを上げる危険性が高い。逆に、改憲勢力が3分の2を下回れば、首相の改憲戦略には確実に歯止めがかかります。

選挙の結果は私たちの身近な部分に影響します。しかし、消費税が8%に増税された際、政府は「増税分はすべて社会保障費の充実に充てる」といった約束をしました。ところが、実際に社会保障費に充てられたのは2割にも満たず、政府は国民を騙しました。こうした政府の詐欺に対し、私たちの審判が下せるのは、選挙しかありません。無関心はいつまでも政権の好き勝手な暴走を許し、暴走を続けさせます。無関心はめぐり巡って自身の生活を苦しめます。無関係ではいられません。

今回の参院選が 未来への大きな選択肢 組合員はもちろん、家族や知人、事業主は従業員の方にも棄権しないよう呼びかけ、私たち国民の意思表示である「一票」で、私たちの「くらし」と仕事として「平和で豊かな日本」を取り戻しましょう。投票当日、都合が合わない方は、期日前投票・不在者投票を活用してください。

今回の参院選が 未来への大きな選択肢

今回の参院選が 未来への大きな選択肢 組合員はもちろん、家族や知人、事業主は従業員の方にも棄権しないよう呼びかけ、私たち国民の意思表示である「一票」で、私たちの「くらし」と仕事として「平和で豊かな日本」を取り戻しましょう。投票当日、都合が合わない方は、期日前投票・不在者投票を活用してください。

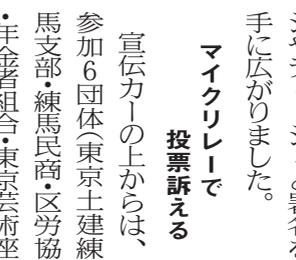
増税とめよう！選挙で止めよう！ 消費税増税ストップ！ねりまインパクト



若者も立ち止まって

来る7月21日の参議院選挙の大争点となる「消費税10%への増税」を何としても阻止させようと地域団体へ呼びかけ、「消費税増税ストップねりまインパクト」と題した大規模宣伝を右神井公園駅前のバスロータリーで行いました。

参院選の公示をうけて各政党の公約が掲げられるなか、投票で増税勢力に審判を下そうと、選挙戦真っ只中となった7月11日、少雨の中、統一色の黄色を身につけて続々と駅前仲間が集まり、開始時刻の17時半には81人(土建73人)の参加者が宣伝カーを囲むように増税反対チラシ



マイクリレーで 投票訴える

宣伝カーの上からは、参加6団体(東京土建練馬支部・練馬民商・区労協・年金者組合・東京芸術座・相田会計事務所)がリレートークで「消費税増税も改憲も社会保障改悪も、皆さんが一人ひとり見極めて投票を」と訴えかけました。



シール投票の様子

「私も消費税の増税には大反対だ。与党には投票しないと決めた」と、宣伝カーに歩み寄ってきてくれた若い男性や、子ども連れの母親・高校生など多くの若年層も足を止めてマイクパフォーマンスに耳を傾ける中、一人30筆もの署名を集めた仲間をはじめ、わずか1時間余りで127筆の署名協力と、多くの温かい応援を頂きました。

若年層も 立ち止まって応援

「10%増税で良い」は、ゼロ回答 通行人へ「消費税何%を望む？」と問いかけてまわったシール投票では、「5%に戻してほしい」が全体の43%で「最多」「10%で良い」は一人もいなく、あらためて国民が消費税の増税を望んでいない事は明確です。ご協力いただいた女性からは、「今でさえ毎日の生活が大変なのに、消費税がさらに上がったら困ります。不安しかありません」と切実な声がありました。



署名への協力

「消費税増税もインボイスも導入させない」参院選でNOを 支部税金経営対策部長 武田知之 「お前は免税事業者だから消費税は請求するなよ」今から20年程前、元請から言われた言葉。これまでは気にもしてこなかったが、消費税増税にともなう導入されるインボイス制度が2023年から始まり、インボイス制度は、しっかり消費税を受け取る契約を前提とした制度ですが、全ての零細事業者が元請から消費税を受け取れるとは限りません。

「消費税増税もインボイスも導入させない」参院選でNOを

「お前は免税事業者だから消費税は請求するなよ」今から20年程前、元請から言われた言葉。これまでは気にもしてこなかったが、消費税増税にともなう導入されるインボイス制度が2023年から始まり、インボイス制度は、しっかり消費税を受け取る契約を前提とした制度ですが、全ての零細事業者が元請から消費税を受け取れるとは限りません。

「お前は免税事業者だから消費税は請求するなよ」今から20年程前、元請から言われた言葉。これまでは気にもしてこなかったが、消費税増税にともなう導入されるインボイス制度が2023年から始まり、インボイス制度は、しっかり消費税を受け取る契約を前提とした制度ですが、全ての零細事業者が元請から消費税を受け取れるとは限りません。



ねりま大根

いよいよ 参院選。読者の皆様、様々な考えはあっても「投票しない」という選択肢だけは避けていただきたい。投票したくともできなかった時代を、二度と迎えないためにも。(奈)



横断幕を掲げ、最終盤の訴え

「消費税増税もインボイスも導入させない」参院選でNOを 支部税金経営対策部長 武田知之 「お前は免税事業者だから消費税は請求するなよ」今から20年程前、元請から言われた言葉。これまでは気にもしてこなかったが、消費税増税にともなう導入されるインボイス制度が2023年から始まり、インボイス制度は、しっかり消費税を受け取る契約を前提とした制度ですが、全ての零細事業者が元請から消費税を受け取れるとは限りません。

